

令和元年度 第7回 キッズモニターアンケート

生きもの観察と外来生物問題について

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

概要

1. 実施期間 令和2年1月10日～1月24日
2. 回答者数 201人
3. 回答率 36%
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査



【外来生物駆除活動や生きもの観察会
イベントの開催状況】
みどり共生推進課 野生生物班

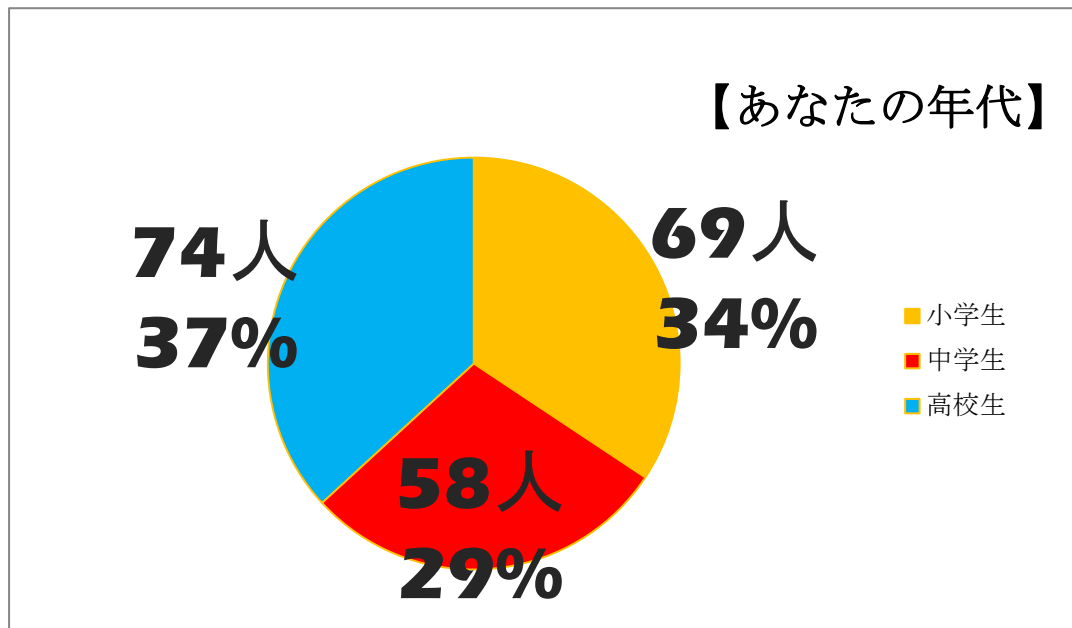
アンケート結果概要

Q1 あなたの年代について 【一つえらび】

あなたの年代はどれですか。

- ①小学生 ②中学生 ③高校生

このアンケートに参加してくれた人の割合は、小学生が34%、中学生が29%、高校生が37%という結果となりました。

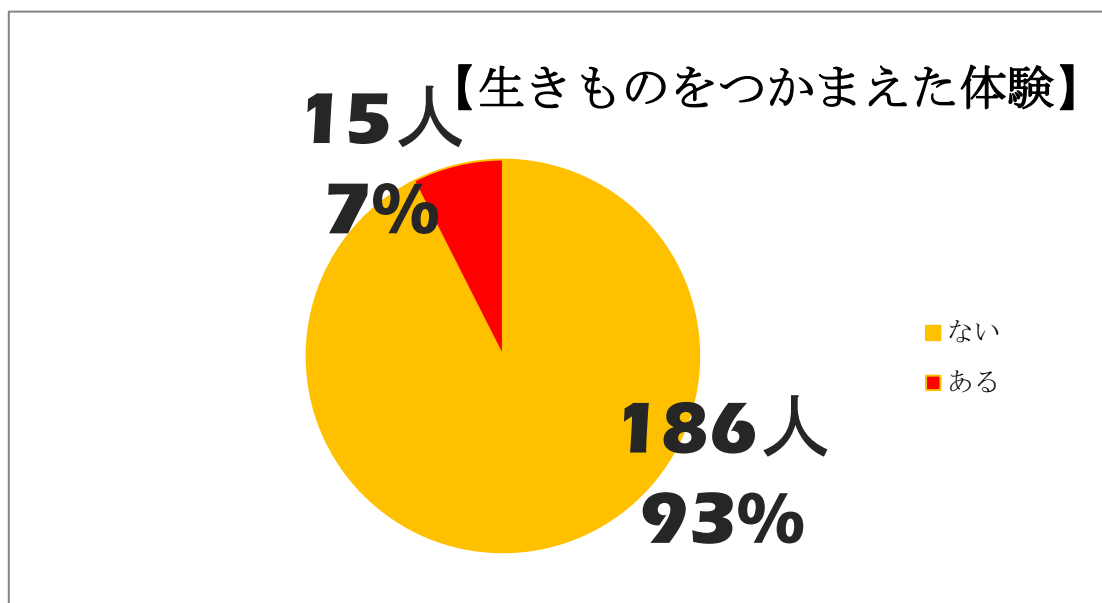


Q2 生きものをつかまえた体験について 【一つえらび】

あなたは、今までに生きもの（昆虫、魚など）をつかまえたことがありますか。

- ①ある ②ない

つかまえたことがある人が93%、つかまえたことがない人が7%という結果になりました。ほとんどの人が、生きものをつかまえたことがあることがわかりました。



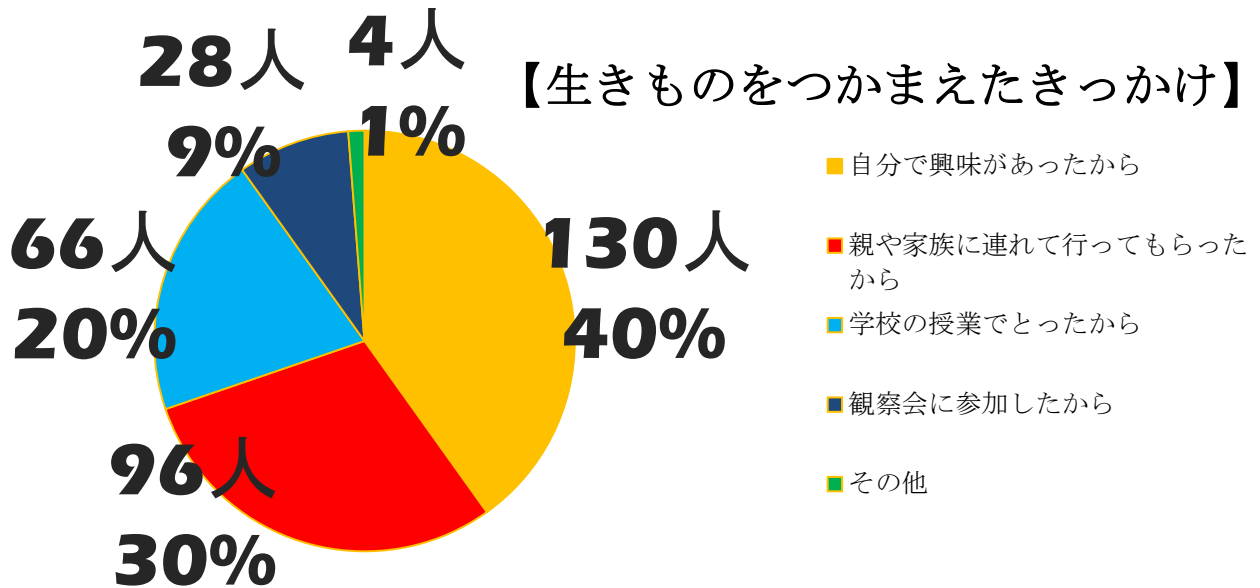
Q3 生きものをつかまえたきっかけについて 【いくつでも】

Q2で「ある」と答えた人に聞きます。それはどのようなきっかけでしたか。

- ① 自分で興味（きょうみ）があったから ② 親や家族に連れて行ってもらったから
③ 学校の授業（じゅぎょう）でとったから ④ 観察会に参加したから ⑤ その他

このQ3では、あてはまるものをすべて選んでいただきました。

自分で興味（きょうみ）があったからと回答した人の割合が、40%と最も高い回答になりました。



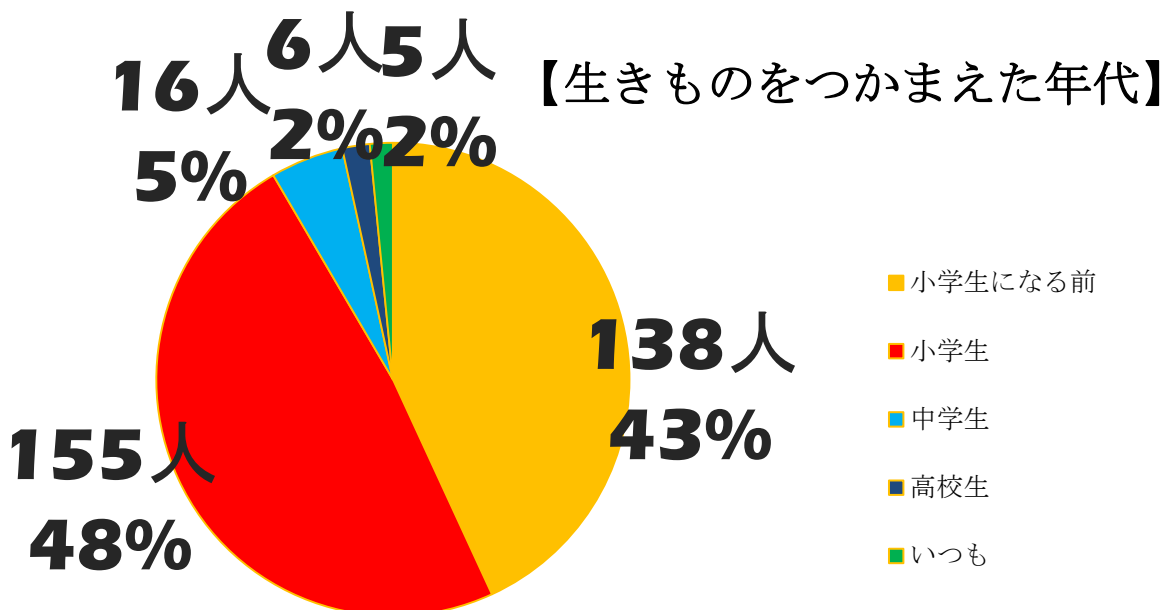
Q4 生きものをつかまえたときの年代について 【いくつでも】

Q2で「ある」と答えた人に聞きます。生きものをつかまえたのはいつごろでしたか。

- ① 小学生になる前 ② 小学生 ③ 中学生 ④ 高校生 ⑤ いつも

このQ4でも、あてはまるものをすべて選んでいただきました。

ほとんどの人が小学生以前に生きものをつかまえているのだとわかりました。



Q5 生きものをつかまえたことがない理由について 【いくつでも】

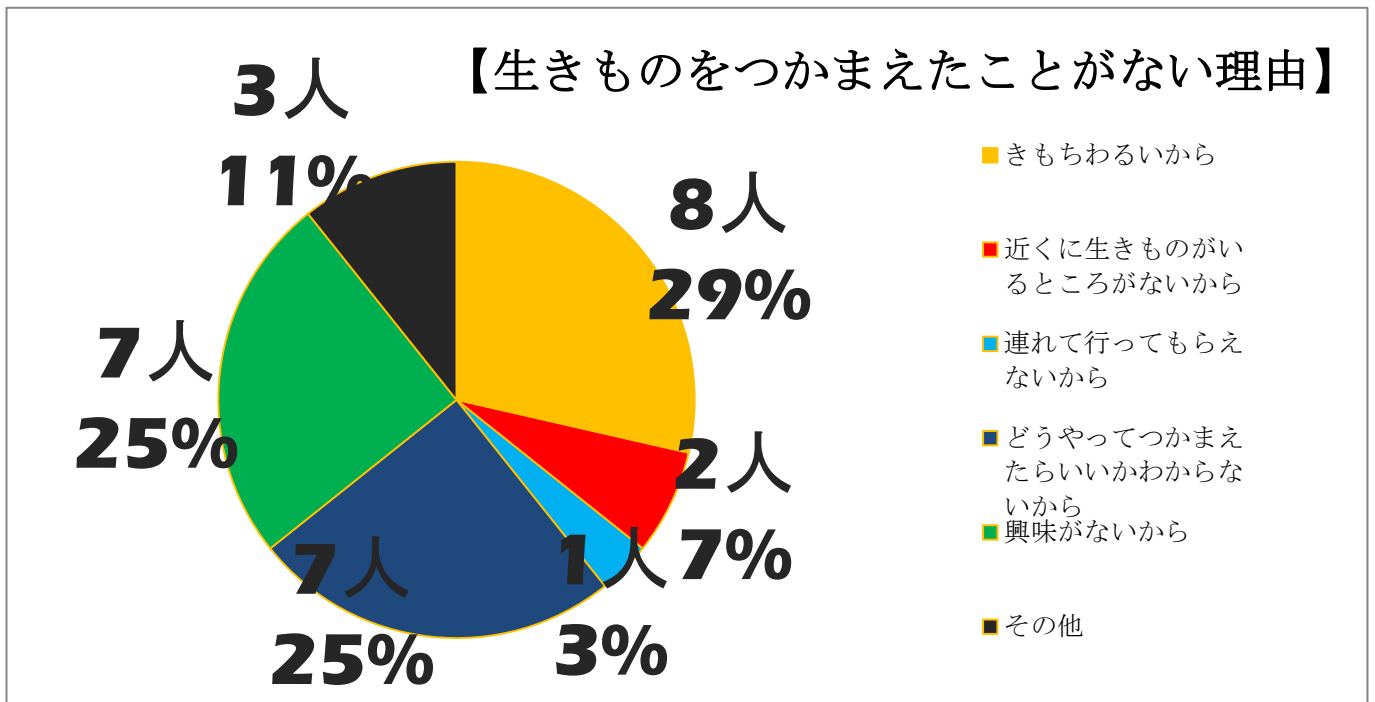
Q2で「ない」と答えた人に聞きます。

生きものをつかまえたことがないのはなぜですか。

- ① きもちわるいから
- ② 近くに生きものがないところがないから
- ③ 生きものをつかまえられるところに連れていってもらえないから
- ④ どうやってつかまえたらいいかわからないから
- ⑤ 興味(きょうみ)がないから
- ⑥ その他

このQ5でも、あてはまるものをすべて選んでいただきました。

きもちわるいからと回答した人の割合が29%と最も多く、続いて、どうやってつかまえたらいいかわからないからと興味(きょうみ)がないからと回答した人の割合が同率(どうりつ)で25%という結果となりました。



Q6 生きもの観察会について 【1つえらぶ】

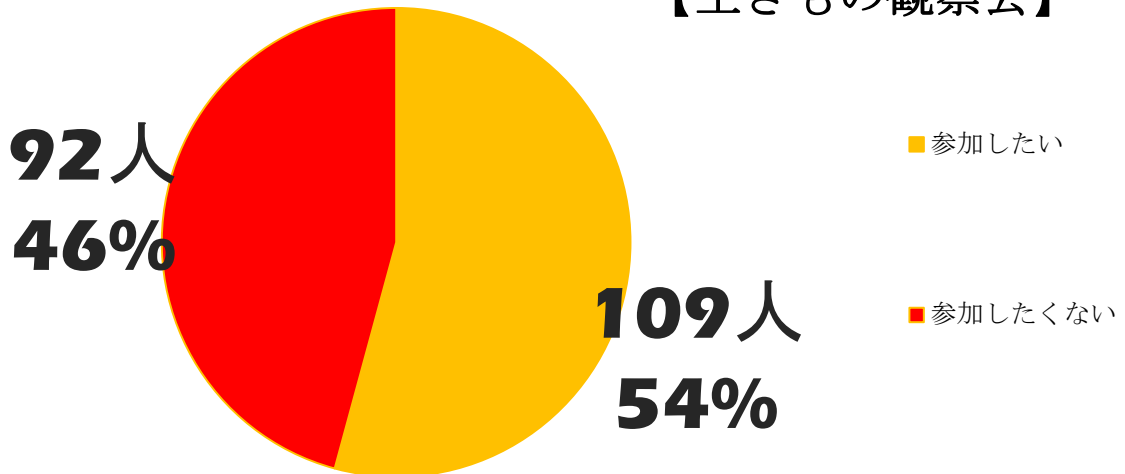
あなたは生きものについて調べたり、さわったりできる観察会に参加したいですか。

- ① 参加したい
- ② 参加したくない

半数以上(54%)の人が「参加したい」と回答してくれました。

今後も県民の森や上野森林公園などで、みなさんの期待(きたい)にこたえることができるように、生きもの観察会や外来生物(がいらいせいぶつ)駆除活動(くじょかつどう)等の自然にふれあうイベントを開催(かいさい)していきます。

【生きもの観察会】



Q7 生きもの観察会の種類について 【自由記載（きさい）】

どんな生きものの観察会をしてほしいですか。

鳥（野鳥）や魚（魚介類）の観察会の要望（ようぼう）が非常に多く、次に、チョウやバッタなどの昆虫の観察会の要望（ようぼう）が続き、カエルやオオサンショウウオなどの両生類、トカゲやヘビなどは虫類の観察会、三重県にしか生息していない希少動植物種やめったに見られないイルカや小動物などのほ乳類の観察会を要望（ようぼう）する人もいました。

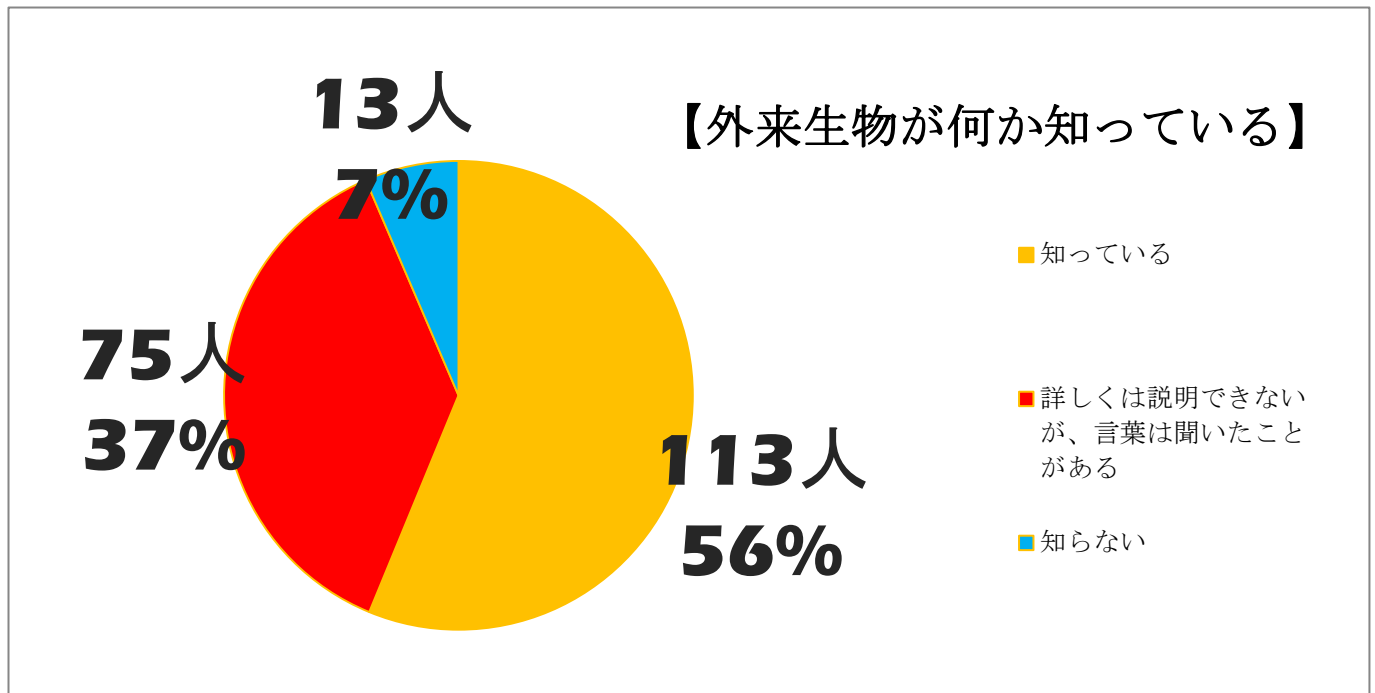
今回いただいた意見については、今後の生きもの観察会などの自然とふれあうイベント開催（かいさい）時に活用させていただきます。多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

Q8 外来生物について 【1つえらぶ】

あなたは外来生物（がいらいせいぶつ）が何か知っていますか。

- ① 知っている
- ② 詳しく（くわしく）は説明できないが、言葉は聞いたことがある
- ③ 知らない

知っていると回答した人が56%、詳しく（くわしく）は説明できないが、言葉は聞いたことがあると回答した人が37%という結果になりました。ほとんど（9割以上）の人に、外来生物（がいらいせいぶつ）が知られていることがわかりました。



Q9 外来生物の種類について 【自由記載（きさい）】

Q8で「知っている」と答えた人に聞きます。

知っている外来生物（がいらいせいぶつ）を書いてください。

ブラックバス、ブルーギル、アメリカザリガニ、カミツキガメ、ミシシippアカミミガメ、ウシガエル、セアカゴケグモ、ヒアリ、セイタカアワダチソウ、アライグマ、ヌートリアなどの三重県に定着（ていちやく）している外来種（がいらいしゆ）や県内で生息（せいそく）していたり、発見（はっけん）されたことがある特定外来生物（とくていがいらいせいぶつ）については、多くの人に知られていることがわかりました。

Q10 外国産のペットについて 【1つえらぶ】

外国のカブトムシをもらいました。あなたならどうしますか。

- ② かわいそうだから近所の公園に逃がして（にがして）あげる
- ③ 逃げない（にげない）ようにして最期（さいご）まで飼う（かう）
- ③ 博物館や動物園にプレゼントする ④ その他

逃げない（にげない）ようにして最期（さいご）まで飼う（かう）と回答した人の割合が54%と最も多く、また、その他の回答の中には、飼えない（かえない）のなら絶対にもらわないや友達やカブトムシが好きな人にあげて、責任（せきにん）をもって飼って（かって）もらうという回答が大多数を占め（しめ）、博物館や動物園にプレゼントして、責任（せきにん）をもって飼って（かって）もらうという回答も合わせると、ほとんど（9割以上）の人が外国産のペットは野外には逃がして（にがして）はいけないということを知っていることがわかりました。

今回いただいた意見については、今後の外来生物（がいらいせいぶつ）に関する普及啓発（ふきゅうけいはつ）に活用させていただきます。多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

【外国のカブトムシをもらったらどうする】

